



## 同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一  
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩閑新田字寺前316  
☎048-977-5441 FAX048-977-2031  
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>



## 獨協埼玉の今

校長 尾花 信行

前校長の百合壽紀先生がご退職され、この4月より、私、尾花が校長を引き継ぐことになりました。百合先生はまだまだ現役としてご活躍されるパワーをお持ちでしたが、ご家庭の事情もありご退職の決断をされました。初代矢嶋先生から百合先生まで引き継がれてきた獨協埼玉への想いを大切に、学校運営をしていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

この春はその他にも、依田先生、堀口先生、手塚先生と学校を支えてきた先生方がご退職され、いささか世代交代の感もありますが、獨玉は獨玉、大きく変わることはありません。卒業生の皆さんがいつ訪れてもほっとできるような学校であり続けたいと思います。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により多大な影響を受けた1年でした。学校行事はことごとく中止となり部活

動も大幅な制限を余儀なくされました。反面教育の現場としては大きな発展が見られた年でもありました。学びを止めないことを大前提にもともと計画していたICT化を前倒して実施することにより、家庭学習も授業のスタイルも大きく変化しました。卒業生の皆さんの時代では、先生方がチョークを使って板書するのが当たり前で、先生方の様々な板書のスタイルが楽しみでもあったはず。でも、今の授業の様子はちょっと違います。各教室に設置したプロジェクターから音声は勿論、多様な情報を黒板に投影し、併せて板書も行いながら展開していく感じです。生徒は1人1台Chromebookを持っていて、授業中や家庭学習で当然のように使いこなしています。確かに進化はすごい速さで起こっていて、学校はそれに乗り遅れないようしっかりと踏ん張っています。ポケベルだPHSだガラケーだと言っていた時代がうそのようです。

新型コロナウイルス感染症の影響はまだ暫く続きそうです。気楽に遊びに来て下さい、とも言えない状況が続き寂しい限りですが、皆さん元気でご活躍ください。晴れて、マスクなしで再会できる日を楽しみにしています。



## 変化を乗り越えて

同窓会長 玉山 栄一

まさか今年もまだ新型コロナウイルスと戦うことになっているとは思っていませんでした。今年こそは皆さんとお会いできることを楽しみにしていただけに残念です。同窓会の様々な企画も中止になり本当もどかしい気持ちでいっぱいです。昨年に続いて同窓会総会も学校での開催は中止となり、オンライン配信で実施いたしましたことをこの場を借りて改めて報告させていただきます。

昨年、そして今年大学にご入学された学生の皆さんも、ほとんどの授業がオンラインとなり、同級生と会うことも許されない退屈な生活になっているかと思えます。また、このパンデミックの影響で大きな社会構造の変化が起き、向こう10年で様々な産業の消滅と誕生が予想され、社会人の方も

先の見えにくい生活を余儀なくされていることと思います。

私たちは生きる時代を選ぶことができないのです。大切なことは、このような不安定な世の中を生き抜くために必要な「変化に適應」する力を身に付けることであると思います。このコロナ禍において、変化はこれまで以上に加速していくことが容易に予想されます。世界の変化を見逃さず、スピード感をもって適應していけるようになりたいものです。

「変化は人生の法則である。過去と現在しか見ない人は確実に未来を見失う」とかつてジョン・F・ケネディが言ったそうです。常に情報をアップデートし、自分をバージョンアップさせていきましょう。

このような先の見えない状況ではありますが、これまでと同様に同窓会活動に関心を持っていただき、積極的に参画していただけますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、昨年度をもって百合校長先生がご退任なされました。獨協埼玉設立当初からご尽力いただき、本校の基礎を作っていただきました。心より感謝申し上げます。

## 会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、39期13,894名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。

同窓会の事業運営費として、1期～17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については会報の発送を段階的に停止させていただくことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願いする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

獨協埼玉高等学校同窓会 玉山 栄一

※ホームカミングデーを区切りとして、会費未納の方への会報発送を停止させていただきます。

# 退職にあたって

## ●堀口 千秋先生 (理科)

2021年3月をもって、38年間務めた本校を一度退きました。様々な事情があり、退職を決意するには随分悩みましたし、引き留めてくださる方も大勢いましたが、中堅や若手の先生方が育ってきた時期だからこそ学校を刷新して新しい風を吹かせる事も大切と判断しました。先生方一人一人の考えは教科中心であらゆる方向を向いているベクトルに見えていましたので、少しでも実現できるように情報を収集し、太いベクトルにすることが私なりの役割と考えて行動してきました。入試対策の後を引き継いだ酒井先生はまだ部署の経験があまりないので、今年度は「入試顧問」の形で勤務しています。生徒募集は私立にとって生命線ですから、授業や進学実績は勿論、生徒に対して愛情をもって対応し、「獨協埼玉に入学して良かった」と言ってもらえるように過ごしてほしいと思います。それが最も有効な宣伝材料ですから。本校での私の足跡は20年前の紀要に、そして今年の紀要にもラストメッセージを寄稿しますので、時間があれば参考にしてください。長い間有難うございました。

## ●依田 善朗先生 (国語科)

### 青は藍より出でて藍より青し

二十三歳の青年教師は六十四歳の老教師となった。今年の三月で退職したが、非常勤講師として週三日獨協埼玉に通っている。今、職員室で文を書いているのだが、初年度から在職している教師はもう見当たらない。

教師として私が最も大切にしてきたことは、生徒が興味を持って勉強や部活動に向かうことであった。人は興味がないものに対して積極的にはなれないからである。部活動ではラグビー部で25年、囲碁将棋同好会で16年生徒と共に活動したのだが、生徒は夢中になってグラウンドを走り、次の一手を考えた。卒業後早稲田や慶応で正選手になった者もいたし、将棋の団体戦では県大会の準決勝にも進出した。「好きこそものの上手なれ」である。

今振り返って思うことは、教育とは「育てる」ことではなく、「育つ」のを援助することではないかということである。一人ひとり持って生まれたものをよい形で開花するようにフォローすることが教師の使命なのではないか。ラグビーや将棋で私に専門的な知識や経験があったわけではない。ただ生徒に溶け込んで一緒にボールを追いかけ、将棋を指してきた。そして生徒と泣き笑いを共にした。生徒は私を超えて、ラグビーや将棋に熱中した。その姿を見られて幸せだった。

教師をしながら、私自身も興味のある俳句や書道、さらには中国語の学習に励んだ。生徒も獨協で充実した学生生活を送り、私も満足のいく人生を歩めた。一人ひとり自分に向いていること、興味あることに熱中することこそその人の幸せである。そういうことを私は獨協埼玉の教員として学び、実践してきた。

皆さんと共に獨協埼玉という場で一緒に過ごしたことは私の財産です。ありがとうございます。

## ●手塚 利幸先生 (数学科)

令和3年3月31日をもって38年間務めた獨協埼玉中高等学校を退職しました。退職に関しては、色々な先生方からお祝いの言葉をいただきありがとうございました。感謝に堪えません。

今回退職する一番の理由は、母親の健康面です。(私自身はいたって健康体なのですが?) 母親も高齢になり、母親の仕事も少しでも変わればと思い退職することを決めました。

38年間の獨協埼玉の生活では、一緒に組んだ学年、学年で思い出がいっぱいあります。その中でも忘れられない思い出は修学旅行です。

私は、学年会の役割として修学旅行を担当していました。百合学年では、獨協埼玉で最初の「沖繩修学旅行」を計画したり、依田学年では、渡嘉敷島での宿泊を計画していたのですが、低気圧の通過で渡嘉敷島に渡るフェリーが欠航した為、島に渡れることが出来ず、急遽那覇市内のホテルでの宿泊になったり(お陰で、修学旅行生を受け入れていない豪華ホテルに宿泊が出来ましたが)、松本学年では、2001年9月11日に起きたアメリカを狙ったテロの影響で急遽「沖繩修学旅行」から「九州・関西修学旅行」に変更になりました。最初から計画のやり直しで大変でしたが、夜中にフェリーで大分から大阪に移動し、途中で瀬戸大橋のライトアップを見たり、開園したばかりのUSJや宝塚劇場で歌劇を鑑賞したりしました。私が担当した修学旅行は、上記のようにトラブル続きの連続でした。

また、体育祭で「チャップリン」に仮装したのも良い思い出です。(今でもパネルを大切に持っています。)

現在は、新型コロナウイルスの流行で、なかなか集まる事が出来ませんが、コロナウイルスが落ち着いたらクラス会でも行いたいですね。



# 2021年度 体育祭

新型コロナウイルスの影響により昨年度の体育祭は中止されました。昨年度の卒業生は高校最後の学年の体育祭を経験することなく卒業して行きました。新型コロナウイルスの影響は収束を見ることがなく、今年も体育祭の開催が危ぶまれていました。そのような中、獨協埼玉高校は今年度の体育祭を行うことを決断しました。行事を大切にしていきたいという学校としての姿勢であると思っています。それでも、40回を重ねた今までの体育祭と同じような形式では感染リスクが高まってしまうので、あらゆる種目を見直し、感染症対策を講じたうえで行うこととなりました。

体育祭の準備には入ったものの、感染症対策をしながらの競技は思うようにならず、合わせて熱中症対策もしていかなければならない難しさが重なり、準備は順調には進みませんでした。さらに、在校生の中で体育祭を経験しているのは3年生だけ。しかも1年生の時の経験ですので、かなり不安も多くありました。しかし、体育委員の生徒たちはその不安を払拭するような動きで、良い準備を進めてくれました。特に3年生はリーダーシップを発揮し、我々教員が指示をせずとも自ら考え積極的に準備を進めてくれました。一学年上の先輩たちの思いと共に頑張りました。そして、途切れそうになった獨協埼玉の伝統ある体育祭のバトンを後輩たちに渡してくれたと思っています。この体育祭の開催にあたり、まず実施の判断をしてくださった校長先生をはじめとする教職員の方々、本当によく仕事をしてくれた体育祭実行委員の生徒たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

体育祭担当 櫻井 広仁

今年度は無事に体育祭を開催できたこと、嬉しく思います。開催に携わった方々本当にありがとうございました。

私はより多くの人に「楽しかった」、「最高だった」と思ってもらえるように日々体育祭本部、体育委員、体育祭係の生徒や体育科の先生などと協力し日々体育祭に向け活動してきました。時には仕事が辛い時はありましたが本部になれなかったみんなのためにも私たちにできる努力を最大限し、閉会式後にはクラスメイトや体育祭本部など「最高だった、ありがとう」という言葉を聞いて、精一杯努力してきてよかったなと思いました。

本当に最高の思い出となりました。ありがとうございました。

高校3年3組 体育祭実行委員長 渡邊 陽向



## ICT 導入の流れ

感染症の拡大により、2020年の3月中に急ピッチでオンライン環境を整備しました。まずは4月以降に生徒と連絡を取ったり、授業の動画配信を行ったりする必要があるので、Google for Educationの活用を決定し、全校生徒分のアカウントを発行しました。また、オンライン授業への対応も考え、生徒に1台ずつChromebookを購入してもらう決断をしました。同時に、登校再開



後のICT活用についても考え、校内Wi-Fi環境の整備も行いました。4月中は休校となる中、Google Classroomを活用して動画配信や課題配信を行いました。5月中旬からはGoogle フォームを活用し、生徒の健康状態や学習状況を確認しました。夏休み中にChromebookが届き、休み明けに1人1台端末を配付しました。夏休み中に無線の工事も完了していたため、夏明けには生徒が学校でChromebookを使えるような環境が整いました。

突然ICTの導入が決定しただけでなく、動画配信などのこれまで経験したことのないことを行う必要があったにもかかわらず、獨協埼玉の先生方は前向きに取り組んでくださいました。こういった危機対応というのは、自由な校風である獨協の強みなのかなと思います。

## ICT 教育の現在とこれから

ICTの導入から1年が経ち、様々な取り組みが行われました。配布物や提出物のペーパーレス化が進み、簡単な小テストなどもChromebook上で行われるようになりました。ドキュメントやスプレッドシートの活用も進み、生徒が共同して問題解決を行う機会が増えました。フォームを活用することによって生徒や教員、保護者の意見を収集しやすくなりました。一部の教科ではデジタル教科書の試験的な導入も進んでいます。

様々なメリットがある一方で、課題も見えてきました。特に、スマホやChromebookに依存してしまう生徒がいる点が大きな課題です。また、ネットの情報に頼り、自分の頭で考えないことも懸念すべき点です。

今後は、生徒が主体的にICTを活用し、問題解決を行うことが目標です。一部のクラスでは、生徒が自らHPを作り、情報共有やアンケートを実施しています。生徒がICTを効果的に活用してくれることを願っています。

## 獨協医科大学系列校推薦枠の新設及び 高大連携教育プログラム「医学へのいざない」の開設

本校と獨協医科大学医学部との高大連携教育の一環として、2022年度入試（今年の高3生）より「系列校推薦枠」が新設されることとなりました。昨年までは本校から獨協医科大学への推薦は「指定校推薦」であり、本校を含めた全国の指定校の受験生内での選抜でした。この「系列校推薦」は、本校と目目の獨協中高が対象となり、この2校の受験生内での選抜となります。募集人数は両校合わせて10名以内です。本校から獨協医科大学医学部への道がより開ける入試制度となります。

また、入試制度だけでなく、教育面での高大連携も深めていきます。今年度はコロナの影響のため、月に1回程度のZoomを用いたオンライン講義を医大の先生方や、本校の卒業生に行って頂きます。対象は中学校3年生～高校3年生の希望者です。次年度以降は医療実習や医大の学生との交流等、系列校ならではの一步踏み込んだ高大連携教育も行っていきます。

進路指導部主任 中山 賢

# 第41回 蛙鳴祭

9月18日(土)・19日(日) 2年ぶりの開催決定！ (校内開催・オンライン公開)

同窓生の皆さま、今年も蛙鳴祭の季節となりました。昨年度は開催できなかった蛙鳴祭ですが、今年是在校生間での見学ができる「校内開催」の形にて開催することが決まりました。

校内開催の様子や、生徒たちが作成した動画を、後日蛙鳴祭本部委員の運営する特設 HP にて「オンライン公開」致しますので、工夫を凝らした企画を是非ご覧ください。

特設 HP は、準備が整い次第、本校 HP にてお知らせ致します。今しばらくお待ちください。

## タイムカプセル2021は、来年に延期します！

1990年9月30日、蛙鳴祭2日目の夕方、当時の生徒会関係者の手によって、中庭の片隅に“タイムカプセル”が埋められました。生徒会長の「10年後の2000年に向けて、何か記念になるものを残したい！」という一言から始まった“タイムカプセル”、当時在学していた9・10・11期生(平成3・4・5年卒)が、自分や友だちに宛てて書いた手紙やクラス写真などを埋めました。そして、約束の2000年、再び集まった生徒会関係者がタイムカプセルを開封し、懐かしい手紙が卒業生の手元に届きました。

その後、この企画は、2000年当時に在学していた19・20・21期生(平成13・14・15年卒)、2010年に在学していた29・30・31期生(平成23・24・25年卒)へと受け継がれていき、昨年2020年に“タイムカプセル”を開封！する予定でしたが、コロナウイルスの影響で叶わず…。

今年度、2年ぶりに蛙鳴祭は開催されますが、在校生間での見学ができる「校内開催」の形にて開催のため、待ち遠しいタイムカプセルの開封を「もう1年」延期させていただきます…!! 来年9月に開催される蛙鳴祭、懐かしの母校で12年前にタイムスリップしてください！(詳細は、来年の会報でお知らせいたします)



## 新しい風

### 新任教員紹介



金井 優祐 (国語科)

今年度より本校に着任いたしました、国語科の金井優祐と申します。中学1年生の副担任と、高校女子テニス部の顧問を務めております。

中1の国語と中2の文章表現、高1の現代文を担当していますが、生徒たちからの質問や意見、発表などに、日々こちらも刺激を受けています。また、授業に限らず、部活動などの日々のあらゆる場面で、生徒たちから伝わるエネルギーは非常に熱いものであり、これがどったまかと驚く毎日です。

私が教員を目指したきっかけに、「教える」ということに関わり続けたいという気持ちがありました。それは、目指したい具体的な職業は思い浮かばずとも、どのようなことに自分の将来の時間をかけてみたいのかという疑問による気持ちであり、気づきです。本校の中学生や高校生が、このような自分自身への気づきを持てるよう、お互いに熱量を与え合いながら、その熱の性質や方向を共に考え、共に成長したいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



矢嶋 優二 (理科)

今年度より本校で勤務することになりました、矢嶋優二と申します。担当教科は理科(化学)で、高校2学年の副担任、高校陸上競技部の顧問を務めています。

4月から勤務を始めてから3か月が経過し、少しずつ本校の仕事にも慣れてきました。本校の第一印象は、生徒たちが豊かな緑と広大な敷地の中でのびのびと過ごしていて、学業と部活動に熱心に取り組む生徒が多いと感じました。また、先生と生徒の距離が近く、生徒が先生に気軽に質問や相談ができる環境は、私の母校の雰囲気と重なるところがあります。

自ら考え判断できる若者になるために、獨協埼玉でたくさんのことを学び、経験しましょう。私は、授業に限らず、学校行事や部活動などの課外活動を通して、生徒一人ひとりの潜在的な能力を引き出し、生徒の夢や目標を実現するサポートができればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



渡部 聖人 (数学科)

こんにちは。渡部聖人と申します。

4月から中学1年生の担任をしています。教科は数学科で、今年度から中学男子バスケットボール部の顧問を務めています。私は獨協埼玉中・高の卒業生であり、また昨年まで3年間、本校で非常勤講師として教科指導・部活動指導を行わせていただきました。様々な立場で得た経験を今後の指導に活かしていきたいと思います。

本校の生徒は「明るく優しく素直である」と感じるとともに、「自分の意志を持って行動する」ということに挑戦できない子が多くいるように感じます。これは本校だけでなく、現在の子どもの特徴であるとも思っています。私は生徒が学校生活の中で悩んだり壁にぶつかったりしたとき、客観的な正解ではなく「自分で考え

判断し行動する」そんな支えとなる教員でありたいと思います。

生徒の成長・学校の発展のために、生活指導・教科指導含め何事にも積極的に挑戦し、精進いたします。どうぞ今後ともよろしく願いたします。

## 教育実習を終えて

### ●安田 紫遠里

私の母校での三週間の教育実習は、新しい気づきで溢れていました。

この実習で最も大切だと気づいたことは、「生徒との対話を欠かさない」ということです。生徒が何を考えているのか、自分が生徒に何を伝えたいのかを全ての場において考え、「何をどう伝えるか」を軸として教科指導や生徒指導にあたっていました。

教育実習を通し、教育現場の素晴らしさを実感することが出来ました。ご指導頂き、本当にありがとうございました。

### ●石井 寛斗

教育実習生として受け入れていただきありがとうございます。この3週間は経験したことのない濃密な期間でした。

一番の学びは授業計画の重要性です。発問を含めた流れに意図があったり、興味を引く話の広がりがあったり、生徒が理解するための工夫が多くあることを学びました。また、教員の生

徒に与える影響の大きさを実感し、授業内外に関わらず教員の熱意が生徒との信頼関係に繋がりに相互に成長することを経験できた実習でした。

### ●渡邊 菜海

私は母校で3週間教育実習を行えたことに感謝しております。

教壇実習を行う中で、誰に何を教えるのかが、大切だと分かりました。その中で、教科書通りの授業ではなく、生徒が興味を持ち、今後の生活に活かせる授業を行うことの難しさを学ぶことが出来ました。

授業とは、先生と生徒の信頼関係で成り立ちます。生徒一人一人信頼関係の作り方は異なります。一人一人の生徒に合った信頼関係を作れる教員を目指したいと感じました。

今回の教育実習の経験を活かし、今後の活動に精進していきたいと思います。

# 第24回 同窓会総会・懇親会開催

## 【今年も動画公開となりました】

昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今年もやむなくオンラインにて動画を公開することいたしました。8月10日(火)より、「校長挨拶」「同窓会長挨拶」「会計・会計監査報告」の動画を、同窓会HPにて公開しています。公開の期限は9月19日(日)となっております。

同窓会HP <http://www.dokkyo-saitama.com/>

※獨協埼玉中学高等学校HPからもリンクが貼ってあります。

現状を鑑み、懇親会につきましても残念ながら中止という判断をさせていただきました。例年であればたくさんの卒業生・現役の教員・退職した先生方で旧交を温める機会となっております。来年少こそは再開に漕ぎつきたいと考えております。

学校祭も残念ながら卒業生の来訪ができないことになりました。ホームカミングデー(18期)とまほろばの会(小平学年)についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため開催を見送らせていただくこといたしました。

ホームカミングデーに関しては、昨年度実施できなかった期(17期)についても、来年度以降、感染拡大が治まり次第行う予定です。

また、まほろばの会に関しては、22歳になる年に実施していく方向で検討していますので、詳細は、学校HP・会報・幹事を通じて連絡をしますのでご確認ください。

## 決算・予算報告

### 令和2年度 同窓会決算書 R2年4月1日～R3年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	34,918,709	次年度繰越金	35,883,808
終身会費卒業生	3,330,000	総会・懇親会費用	763,679
終身会費既卒生	20,000	会報費	1,121,895
利息	173	幹事会費	0
2年度懇親会費	0	同窓会データメンテナンス代	39,490
祝い金	0	ホームカミングデーデータ代	0
雑収入	0	HP関連	24,880
収入計	38,268,882	卒業証書フォルダー	422,910
		娃鳴祭/パンフレット紙面代	0
		慶弔費(花束)	12,220
		支出計	38,268,882

### 令和3年度 同窓会予算(案)

収入の部		支出の部	
40期生 終身会費	3,620,000	総会・懇親会費用	800,000
総会・懇親会費	0	会報費	1,400,000
R2年度より繰越金	35,883,808	幹事会費	30,000
		慶弔費(花束)	30,000
		卒業アルバム保管用	10,000
		企画費	500,000
		卒業証書フォルダー	500,000
		HP関連	25,000
		娃鳴祭/パンフレット紙面代	30,000
		予備費	36,178,808
収入計	39,503,808	支出計	39,503,808

## 部活動紹介

### なつかし **あの頃** 第22回 バドミントン部

開校当初に創設されたバドミントン部は、男子部を村岡健二教諭、女子部を百合壽紀教諭を、2001年まで顧問として、活動を行ってきました。どちらかというと自由気ままな男子部と、練習メニューを考えて活動する女子部が、コート3面を分かち合いながら、和気あいあいとした雰囲気でした。

その後、一度、休部になりましたが、2004年、3名の高1の女子生徒たちが「バドミントンがやりたい!」と活動を始めたことがきっかけとなり、2005年に同好会が発足し、先生方のご理解ご協力をいただき、2006年に部に昇格したことが、バドミントン部活動再開につながり

ました。

現在、経験者が初心者を指導しながら、県大会を目指す部員から、引退するまで辞めないことを目標とする部員まで、高2 19名+高1 20名の女子部員が活動しています。実際に、高校生として部活動に励むことができるのはたったの2年間、本当にあっという間です。この2年間で競技としてのバドミントンを好きになってもらうことと、部活動の一員として目配り・心配りができる人に成長して欲しいと願っています。そして、在学中だけではなく、未永いお付き合いになれば幸いです。バドミントン部OB・OGのみなさん、コロナが収束したら、また第一体育館で会いましょう!

顧問 高田 晶子



## 入試

### 中学入試

- ◆募集 男女 160 名
  - ◆学校説明会
    - 第1回 9月26日⑧ 10:00～
    - 第2回 10月17日⑧ 10:00～
    - 第3回 11月21日⑧ 10:00～
    - 第4回 12月19日⑧ 10:00～
  - ◆入試
    - 第1回 1月11日⑨
    - 第2回 1月12日⑨
    - 第3回 1月17日⑨
- ※第1回は本校と川口会場の2会場で実施

### 高校入試

- ◆募集 男女 160 名
  - ◆学校説明会
    - 第1回 9月26日⑧ 13:30～
    - 第2回 10月17日⑧ 13:30～
    - 第3回 11月21日⑧ 13:30～
    - 第4回 12月19日⑧ 13:30～
  - ◆入試
    - 単願・第1回併願 1月22日⑩
    - 第2回併願 1月23日⑩
- ※詳細は本校 HP でご確認ください。

## 同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

<b>理事</b>	桑嶋 優紀 (3)	武井みどり (20)	柳井 麻希 (31)	高橋 夏希 (37)	内藤 舞 (38)	西山 真綺 (39)
<b>会長</b>	小久保博史 (6)	有光 真織 (20)	石塚 俊輝 (31)	荒木 政飛 (37)	高久 朋也 (38)	石塚 大雅 (39)
<b>副会長</b>	玉山 栄一 (1)	角田 裕孝 (6)	五十嵐 玄 (21)	乾 凱雄 (31)	磯田 桃果 (38)	宮村 朱葵 (39)
	酒井 直樹 (7)	井上 大史 (25)	丸川 怜子 (21)	渡部 聖人 (31)	風間 賢太 (38)	越谷 幸輝 (39)
	永島 健次 (3)	瀬戸てるみ (8)	井上 大史 (25)	石田 えみり (33)	鈴木 智顕 (38)	桜井 美怜 (39)
	櫻井 広仁 (13)	岡崎 陽子 (10)	武内 保香 (26)	宮田 樹弥 (33)	中野 友晴 (38)	山田 紗英 (39)
<b>会計</b>	岩田 寛史 (17)	成瀬 博文 (10)	正岡 祥樹 (26)	奥山 浩基 (35)	朽本 心愛 (38)	安孫子美優 (39)
	鈴木 大州 (23)	布施 崇 (10)	池永 佳央 (27)	金子 貴 (35)	山崎 里緒 (38)	飯島 健大 (39)
<b>会計監査</b>	小林 直樹 (15)	東原 宣之 (11)	高橋 知美 (27)	多ヶ谷美生 (35)	佐藤 そら (38)	福島 大貴 (39)
	友野 行晴 (1)	櫻井 広仁 (13)	荻野 克真 (27)	砂押 友哉 (36)	井上 隼誠 (38)	渋谷 航平 (39)
	池永 佳央 (27)	清瀬 雄平 (15)	安原 慶泰 (27)	石上 雄大 (36)	丸山 唯太 (38)	横山 大智 (39)
<b>事務局</b>	深瀬 和之 (16)	小林 直樹 (15)	市原 泉岐 (27)	小島 瑞生 (36)	藤野 起也 (38)	池田 航 (39)
<b>事務局長</b>	仲田 英紀 (17)	岩田 寛史 (17)	芳賀 大輝 (28)	宇佐神カナ (36)	平堀 陽悠 (38)	長谷川 択芽 (38)
	小平 茂 (5)	坂本 育美 (18)	板倉 晃希 (29)	土橋 知紘 (36)	榎本 純菜 (38)	中野 叶大 (38)
<b>事務局総務</b>	高田 晶子 (10)	関 淳一郎 (18)	加美山 紘子 (28)	清水 太一 (37)	横川 詩恵 (38)	中山友萌香 (38)
<b>幹事</b>	片桐 岳信 (1)	松本めぐみ (18)	中前 千佳 (29)	関根 海人 (37)	加藤 上幸 (38)	濱田 真央 (38)
	小野 岳二 (2)	梨本 佳世 (19)	福島 清代 (29)	常盤 知里 (37)	新出 紗也 (38)	平山 瑛 (38)
		村上 惠理 (19)	柳沼 彬 (30)	北川晴太郎 (37)	佐藤 李則 (38)	大澤 萌首 (39)
			山科 勇士 (30)	丸田 航輝 (37)	高瀬 夏帆 (38)	勝田 結 (39)
			関根 彩乃 (31)	堤 愛結 (37)	岩崎 友哉 (38)	井出 悦央 (39)

### 同窓会からのお願い

- ① 同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せいただければ幸いです。よろしく願います。
  - ② 住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
  - ③ 同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報を適切に保護し、会報、同窓会が主催協力の行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。
- ※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。  
 ※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

### 会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費(1万円)を納入していただきたく、納入票を同封させていただきます。同窓会の運営資金となります。趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願いいたします。※既にお振込みいただいた方には振込用紙は封入されておりません。

### 獨協埼玉高校 同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031  
 事務局 (koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

## 17期・18期生ホームカミングデー延期

昨年度ホームカミングデー対象の17期生の皆様、ならびに今年40歳を迎える18期生(S56,57年生まれ)の皆様、本年度「ホームカミングデー」を開催する予定でしたが、コロナウイルス感染拡大の影響のため開催を見送らせていただくことにいたしました。

来年以降は未定となります。今後、どのような形で開催するかは、会報を通してお知らせいたします。非常に残念ではありますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



## まほろばの会 について

第37期小平学年のまほろばの会について、今年の夏に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により延期とし、令和4年に実施する方向で検討中です。

時期や詳細につきましては、学校HP・会報・幹事を通じて連絡をしますのでご確認ください。